

内にも外にも開かれた学校

～学校・地域・子どもたちがひとつに…～



板柳町板柳中・南小学校支援地域本部 担当者：小枝 秀博／板柳南小学校 コーディネーター：奈良 真弓

西北地区

板柳町

学校や地域の概要

板柳南小学校は以前からPTA活動がとても盛んな学校です。

子どもたちの数も毎年減少し、共働きの家族も増えてきていることもあり、過去のような活気はなくなったと耳にします。

それでも板柳町の中では自営業をしている方が多い学区ということもあります、りんごの栽培学習や会社訪問など、子どもたちに沢山の体験をさせるのにとても協力的な地域です。

わが校のボランティア活動

環境整備、一部の部活動指導に関してはボランティアの方々が中心に活動していますが、ここ2年間では社会科見学の引率ボランティアも増えました。引率だけではなく子どもたちが社会科勉強をするために町内の商店街の方々がお店や会社訪問などに協力してくださっています。

また、月に1回は学校にお話会の方々が読み聞かせに来て、子どもたちをよろこばせてくれています。今年からPTAの方々もお昼休みに来て読み聞かせをしてくださっています。

部活動に関しては野球部・卓球部・サッカー部が主ですが、ボランティアの方が毎日指導に来てくださっています。

コーディネートの実際

工夫といっても特別なものはありませんが、無理はさせないということを第一に考えて活動しています。その分自分で動くことも少なくないのですが、ボランティアの方々にとっても、先生にとっても無理がかかると続かないのかなと思っています。

農繁期など時期によってはボランティアの確保が難しい時もありますが、逆に同じ人ばかりにお願いすることもなくなり、新しいボランティアを見つけることにもなって、それもまた良いことかなと思っています。

担当者・コーディネーターから一言

2年目ということもあり活動のほうも増え、協力してくださっているボランティアの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

この活動を通して、子どもたちと大人が触れ合う機会が増え、学校と地域が助け合ってい

けたらと思います。

わが校の主な活動

【1】部活指導

野球部は、ボランティアの方が中心となり活動して4年目となり、PTAの方以外にも2名の地域の方が指導に来てくださっています。

子どもたちも沢山の人に支えられ自分たちの部活動ができていることを分かっているようで、子どもの頃からそういう感謝の気持ちを持つということはとても良いことだと思います。

【2】読み聞かせ

今年からPTAの方々も図書室に来て読み聞かせをしてくださっています。

子どもたちは大喜びで今日は誰のお母さんが来てくれるの？と楽しみでしようがない様子です。



西北地区
板柳町

得られた成果

ボランティアから「今までどこか封鎖的だった学校が少し開放されてきたような気がする」というお言葉をいただきました。

子どもたちにとっても地域の人たちが学校へ出入りすることによって新鮮な気持ちになるらしく、いつもは何気なくやっている授業も少し張り切ってみたり、あまり挨拶のしない子が地域の人が学校に入りし、最初は言わされていた挨拶も自らできるようになった姿がみられました。

ボランティアの方々も、子どもたちと触れ合うことによって沢山の発見があると喜んでくれています。

忙しくて今回はお手伝いができないと言う人も、次は大丈夫だから声をかけてね！！！と温かい言葉をいただいている。

今後の課題と展望

ボランティア活動が活発になってきたとは言え、学校と地域が一つになっているかというとまだまだのように思えます。

地域の人たちがもっと学校に興味を持ち、学校がもっと地域の人たちを自然に必要してくれるために、どんな小さなことでも話し合っていく必要があるのだと思っています。

小学校へ行こう！

～ボランティアを呼び込もう～



板柳町小阿弥小学校支援地域本部 担当者：小枝 秀博／小阿弥小学校 コーディネーター：福士奈緒美

西北地区

板柳町

学校や地域の概要

学校紹介：小阿弥小学校は児童数130人ほどの小さな学校ですが、子どもたちは素直で仲間意識のある（競争心に欠ける点もありますが…）子どもたちです。

地域紹介：リンゴ農家が多く、団塊世代の方たちも現役で農業を営んでいます。保護者の方々も共働きの比率が高く、時間に余裕のある方が少ない地域です。

わが校のボランティア活動

基本的には昨年同様に校外学習の引率、家庭科におけるミシンの補助などを行っていただきました。

大変意欲的な校長先生の指揮のもとで、学習支援（放課後学習）の丸つけのボランティアも実施しました。また、コーディネーター活動の意味などの宣伝活動にも力を入れて下さり、私自身のPRとして本校での講演の場も設けて下さいました。

現在、ボランティアルームの開設に忙しくしています。ボランティアの方々が気軽に集まる憩いの場として活用できることを願っています。

コーディネートの実際

昨年度取り組んだ活動（校外学習、資料館見学の引率等）を先生にPRし、今年も実施することが出来ました。

ボランティア募集、活動状況報告などの新聞をこまめに作成し、全保護者に配布しています。その際はPRのために自分の写真と電話番号を必ず載せています。同時に、職員玄関前に掲示板の場所を設け、新聞を掲示しています。

先生方とはなるべくコミュニケーションをとるように心がけています。

担当者・コーディネーターから一言

今年度当初は活動がなかなか進まずに焦りを感じていましたが、あまり力まずに、校長先生の力を借りながらやっていきたいと思っています。

わが校の主な活動

テーマ：チャレンジ（挑戦）

本校の教育活動の一環で全校集会の時間にゲスト講師（夢先案内人）として語る機会をいただきました。コーディネーターという仕事の内容などを講演前に子どもたちに説明していただき、初めて理解してくれた子どもがたくさんいたようです。

- 1 この仕事に関わる前に資格試験をとるために、子育てをしながら3年間頑張ったこと。
- 2 子どもたちにはもっといろんな人と話してコミュニケーションをとって欲しい・・・とお願いしました。とても緊張しましたが子どもたちの真剣な眼差しにとても感動しました。その後2年生以上の生徒全員から手紙を頂き、嬉しかったです。



得られた成果

講演後は子どもたちが私とたくさん挨拶や会話をしてくれるようになりました。

子どもたちはもちろん、先生方の私の見方もだいぶいい方向に変わってきたように感じます。講演の時の話をする機会も多くなり、少し距離が縮まって、私自身も自信を持って皆さんと向き合うことができるようになりました。すばらしい経験ができたと思っています。

今後の課題と展望

何事も一人で先走りすぎないように、先生方やボランティアの方と連携をとりながら進めていきたいと思っています。

多くの職種・世代の大人ができること

～豊かな自然環境の中で～



板柳町板柳東小学校支援地域本部 担当者：小枝 秀博／板柳東小学校 コーディネーター：北畠 千春

西北地区

板柳町

学校や地域の概要

見渡す限り広大な水田と、たわわに実るりんご園という自然いっぱいの環境に恵まれた、開校9年目の新しい板柳東小学校です。

その中で育つ素直な子どもたちとの交流を通して、地域の方々との深いつながりを築いています。

わが校のボランティア活動

平成17年度から毎年ゲストティーチャーを招き、4、5、6年生のクラブ活動を行っています。全児童がチャンバラ・おはなし・踊り・お花・手芸・裂き織り・おはなしの7つのクラブに入り、2学期の学習発表会において成果を実践、報告する機会を設けています。

他に野球部・ソフトボール部の指導、また田植えや稻刈り体験学習の補助、低学年校外学習の引率などを行っています。

コーディネートの実際

継続実施しているクラブに関しては、現時点では今年度の活動は終了しましたが、来年度も一部の方には快く協力してくださることを約束していただいている。ゲストティーチャーの世代交代もある程度行われており大変ありがとうございます。

その他、昨年度に比べて授業の補助（家庭科ミシンや調理実習）は今のところ依頼はありません。実際、小人数なので先生のみで間に合っている部分もあるのかもしれません。授業の進み具合等、こちらでは把握しかねるので急な依頼になることもありますが、それでも保護者や地域の方からは快くお手伝いいただいている。

担当者・コーディネーターから一言

事前の打ち合わせ・計画内容は十分だったのですが、台風等の悪天候で発表のための練習に遅れが出てしまい残念だったこともあります。

学校の計画に合わせているので致し方ないでしょうが、時間的な余裕がもう少しあればと思います。

わが校の主な活動

◇ゲストティーチャーを招いての7つのクラブ活動

チャンバラ

軽スポーツのスポーツチャンバラという競技を練習しています。



裂き織り

余り布で、ゲストティーチャー所有の織り機を使用して織った新しい布を小物に変身させます。

お花

自宅や学校周辺に咲いている花を、毎回手作りの花瓶に生けています。

お囃子

地元の「太刀振り舞」という踊りのお囃子の練習をしています。

手芸

毛糸でマフラーを編んだり、タオルでクッションを作ります。



おはなし

一冊の本を選び、読み聞かせをする題材（パネルシアター等）に沿って発表にむけて作業を進めます。

踊り

毎年曲を変え、踊りを練習します。

得られた成果

ゲストティーチャーの皆さんには、農作業等のお忙しい中児童のために時間を割いて来ていただいています。活動を続ける中、ゲストティーチャーにとって児童たちとふれあうことでの対話が生まれ、個々の活力の源となっているようです。

また、児童からは1年毎に希望するクラブを選び、担任以外の「先生」から新しい知識や経験を得るための真剣な姿勢を見ることができます。

学校にとっては、各クラブをボランティアの方に任せきりにするのではなく、担当の教諭と共に活動してもらうことで、ボランティアとの信頼関係も構築できてきてています。

今後の課題と展望

ゲストティーチャーの方も年齢を重ねてきており、協力したい反面、体の不調等で思うように活動できないという問題もでてきて、来年度も継続できるかどうか不安な面も浮上してきました。世代交代のできる部分は安心ですが、新しいクラブの発掘も必要に迫られているところです。

地域に住むエキスパートを学校の教育活動に

～りんご生産体験学習支援を中心に～



鶴田町水元中央小学校地域本部 担当者：教頭 原 真紀／水元中央小学校 コーディネーター：貴田 新一・伊藤 学

西北地区

鶴
田
町

学校と地域の概要

鶴田町立水元中央小学校は、平成16年4月、妙堂崎小学校、水元小学校、田の尻分校の3校を統合し開校した歴史の新しい学校です。学区は、鶴田町の西部に位置し、周囲を水田とりんご園で囲まれた純農村地帯にあります。近くに津軽富士見湖があり、自然観察やスキーにも親しめる環境にあります。保護者の教育に対する関心・期待は高く、また、地域の方々は、温情深く、団結力・実行力に富み、学校行事やPTA活動に対しても非常に協力的です。

わが校のボランティア活動

水元中央小学校地域協議会で重点的取組事項として初年度に確認したのは

- ①統合して間もない学校であることから旧校区の地域住民の方が交流できるような地域合同行事を年に1回開催する。
- ②学校で行っている体験的な学習に地域の専門家が関わることにより学習成果が上がるようコーディネートする。

以上の2点です。このことを踏まえ、当本部では、学校、PTA、地域教育協議会の共催による地域交流会を開催するとともに、学習支援の面では、りんご生産体験学習の支援に力を置いて取り組むこととしました。

コーディネートの実際

地域交流会の持ち方やりんご生産体験学習における学習支援の進め方等について、具体的に相談するとともに素早い取組ができるよう、地域教育協議会の中に企画部会を組織しました。

地域交流会については、子どもから高齢者まで各世代が楽しめるプログラムづくりに活発な意見交換がなされました。また、りんご生産体験学習では、学習のねらいや支援内容のニーズ等について学校側から取材し、各活動の適任者と思われる地域の人材をピックアップすることができました。

担当者・コーディネーターから一言

コーディネーターはもちろん企画部員のみなさんも、それぞれ多様なネットワークを持っていて、これまで学校側で把握していなかったすばらしい地域人材を、ゲストティーチャーとして迎えることができました。

わが校の主な活動

◇りんご生産体験学習

水元中央小学校では、PTA会員や学区の皆様から体験学習用の園地を提供していただき、人工授粉から収穫、そして収穫したりんごを利用しての調理体験や地区のお年寄りへのプレゼントなど春から初冬にかけて多様な活動を開催しています。

各活動で指導してくださるゲストティーチャーは欠かせない存在です。



【主な活動】

- ①人工授粉 ②実すぐり ③袋かけ ④袋はぎ・シール貼り
- ⑤つる回し ⑥収穫 ⑦りんごを利用した調理実習
- ⑧高齢者へのりんご贈呈（老人施設訪問） ⑨りんごケーキづくり

右上は、袋かけ体験学習の写真です。指導にあたってくれているのは、瀧谷勝行さんです。子どもたちが袋のかけ方を習得しやすいよう、自作の練習キットを利用して教えてくださったおかげで、多少の風では飛ばされない上手な袋かけができました。

右下は、学区内のケーキ職人齋藤孝幸さんを講師に招いてのりんごケーキづくりです。子どもたちは、おいしいケーキの作り方を学んだだけでなく、地産地消の大切さも学習することができました。



ほかの学習でも多くの方の支援を受けて学習を進めることができました。

得られた成果

人工授粉からりんごケーキづくりまで約7ヶ月にもわたる体験学習であることから、4月の段階で年間を見通したスケジュール確認をした上でボランティア協力者への依頼をしました。

そのことにより、ボランティア指導者として協力くださる方々にとっても準備期間としての時間的余裕が生まれ、子どもたちにとって充実した学習となるよう創意・工夫した指導・支援が可能となったものと思われます。

また、地域交流会の開催により、旧学校区の地域住民同士が交流できる場となったという点で意義のある活動となりました。

今後の課題と展望

りんご生産体験学習では、天候等に起因する生育状況等により当初の計画と違う日に体験学習することもあることから、活動ごとに日程調整が必要となってきます。今後もコーディネーターとして事務局（教頭）との連携を密にしながら、学習支援者との連絡調整に努めていきたいと考えています。



コーディネートから見えてきたこと



鶴田町菖蒲川小学校地域本部 担当者：柳澤 弘幸／菖蒲川小学校 コーディネーター：野宮 孝義

学校や地域の概要

菖蒲川小学校区の西側には岩木川が流れ、西南には秀麗な岩木山を眺めることができます。また、鶴泊地区を五能線が走り、菖蒲川・大性地区には、国道339号線が通っていて、交通の便には恵まれています。

教育活動においては、地域ぐるみの協力体制が整っていて、環境整備や健全育成のための活動が盛んに行われています。また、学校行事やPTA活動には、保護者の参加が多く教育への関心も高くなっています。

わが校のボランティア活動

他校と同様に、PTAや地域が一体となった環境整備・環境奉仕的な活動が行われていますが、地域の教育力（資源や人材）の活用という点では、総合的な学習の時間開設以前から地域産業の学習として、稲作やリンゴ栽培に関する学習を展開しています。

地域の農家の方が講師となり、稲作学習では、社会科からの教科発展型の総合学習として米作りの一連の作業行程を学び、リンゴ栽培学習では、地域産業の学習として、栽培の行程から、収穫したリンゴの加工や販売に至るまでの流れを取り入れた学習が行われています。

コーディネートの実際

本学校支援地域本部のコーディネートの特徴としては、一般公募型の人材バンク作りを行わず、学校現場の要望と、コーディネーターの人的ネットワークとを結びつける方法があげられます。

この方法によって、バンクに登録したのに一度も出番が回ってこないというような不満の声が上がることは無く、コーディネーター自身がよく知っている人材を活用しているので、ほぼ予想どおりの成果を期待することができ、効率的な運営になっていると思います。

担当者・コーディネーターから一言

コーディネーター：地域に根差した各種学習活動を行い、学校と地域の橋渡しをしていきます。
担当者：菖蒲川式コーディネート法を編み出すのが目標です。

わが校の主な活動

学校支援地域本部ができて2年目になりますが、これまでは、校舎の壁やフェンスの補修といった、環境整備型の活動を多く行いました。

今年度に入ってから、担当者もコーディネーターも新人となったことをきっかけに、活動内容の見直しを図ってみました。

その結果としてまず行われたのが、夏祭りに運行する「ねぷた」の補修作業でした。ねぷた絵制作を担当する地域の大学院生が講師となり、地域のお年寄りや保護者の皆さんが張り替え作業や色つけ作業の手伝いを行いました。参加していただいた皆さんには「これならまたできる」という自信を持ってもらったようです。

また、「人集め」の一つの方法として、「活動をさりげなく見せることで興味を持ってもらい、何となく参加してもらう」という取組を、玄関タイルの補修の際に行ってみました。

実に面白いもので、最初二人だったものが、手伝い始める人が、一人二人と何となく増えていき、結局五人の作業になっていました。面白い方法だと思いました。

このようにして、活動内容を見直しながら、学習支援ボランティアの方をもう少し増やしていきたいと考えています。



得られた成果

- ・何よりも、子どもたちが学校の教員以外の人たちと接することで、教わるためのマナーが身に付いてきていること。
- ・環境整備等ではなく、学習支援を考えることで、学校の教員側も、外部人材活用の有効性に気づき始めたこと。
- ・ボランティアすることが楽しいと感じてもらえたこと。
- ・人材バンク的なデータ集めや、ボランティア同士を繋ごうとする委員会の設置が、もしかしたら無駄で不要なのではないかという予想が、どうやら当たっていそうだと分かってきたこと。

今後の課題と展望

様々な成果があった反面、様々な課題も明らかになってきているように感じています。ボランティアは、「善意の中で、やれることをやれる分やる」ことでいいはず。活動をする側も受ける側も中に立つ者も、決して無理をせず、手のひらサイズでいきたいものです。

地域とともに 学校と一緒に

～地域の方々に支えられて～



鶴田町胡桃館小学校支援地域本部 担当者：木村 文江／胡桃館小学校 コーディネーター：相川 敏子

学校や地域の概要

- ・学校紹介 (1)胡桃館小学校には各学年1学級ずつと特別支援学級があります。
(2)全校児童数66名(51戸)、教職員数13名。
(3)明治11年の開校以来、131年の歴史があります。
- ・地域紹介 (1)境、胡桃館、中野、山道の4地区(南北4km)に分かれています。
(2)米と果実(りんご・ぶどう)を主とした純農村地帯です。
(3)保護者の授業参観日等、学校行事への参加率は極めて高い地域です。

わが校のボランティア活動

①	クリーン作戦	4/19	⑨	楽器修理講習会	8/28
②	花壇整備講習会	5/7,11	⑩	松の剪定講習会	8/31,9/1,2
③	グランド整備講習会	5/24,9/10	⑪	秋の遠足補助	9/30
④	バックネット修理・修繕講習会	6/16,22	⑫	校内トイレ掃除	10/15
⑤	パネルシアター講習会	6/24,7/17	⑬	田植え・稻刈り・脱穀講習会	5/21,10/15,21
⑥	フェンス修理講習会	6/25,26	⑭	卒業記念制作・弥生画	12月～2月予定
⑦	掃除ピカピカ大作戦	6/27,9/9	⑮	藁細工体験	12月下旬予定
⑧	相撲講習会	8/27,31,9/1	⑯	スキー教室指導者講習会	2月上旬予定

コーディネートの実際

- ・講習会の講師には、なるべく町内在住の方にお願いする方針ですが、その内容によっては、教育事務所から出されている「退職教員学校支援ボランティア」を活用するため、近隣の市からお願いすることもあります。
- ・講師とは講習会当日だけではなく、事前打合せをするようにしています。
- ・どの事業をやるのにも、なるべく保護者の協力を得られるようにお知らせをして、地域住民の方々にも声をかけ、一人でも多くの方々に学校へ足を運んでいただきたいと考えています。

担当者・コーディネーターから一言

- ・農繁期の講習会や事業には参加数が少なくなる傾向がありますが、PTA会員数が決して多くはない学校にもかかわらず、みんなで声を掛け合いながらボランティア活動に参加してくださるのでありがたいと思っています。

わが校の主な活動

【1】花壇整備講習会 平成21年5月7日（木）、7月11日（土）

1回目と2回目の開催日を2ヶ月間あけたことで、季節に合った花の手入れの仕方がわかりました。今年度は例年になく、とてもきれいな花が咲いています。特に2回目は、活動を土曜日に設定したことから、本校の放課後子ども教室・児童クラブ『サンシャインスクール』の指導員の方が全面的に協力してくださいました。



【2】相撲講習会 平成21年8月27日（木）、31日（月）、9月1日（火）

まわしの付け方や準備運動、取り組みの仕方、整理運動等を丁寧に教えていただきました。放課後子ども教室・児童クラブへ児童を迎えてきた父母と一緒に講習会を見守ってくれたことで、参加者以外の地域の方々にも事業について知っていただくことができました。また、講師には、教育事務所の『退職者教員学校支援人材センター』から講師をお願いしました。



【3】秋の遠足引率補助 平成21年9月30日（水）

全校生徒は66名と小規模の学校ですが、肢体不自由児が1名いることと、昼食には豚汁を用意することにしたから、引率や調理を本校のコーディネーターはじめ地域の方々にお手伝いしていただくことにしました。児童にも地域の方々に見守られているという意識が芽生え始めたを感じています。



得られた成果

- (1)講習会を受けたことで、今まで捨てられていたり、使えないと思っていたりした物が、ちょっとした修繕等で再度活用できることができることがわかりました。
- (2)事業の講師が、校内の施設・設備等を目に入れ、後日空いている水槽へメダカ等を寄付していただくなど、学校のことを気にしてくださいました。
- (3)清掃活動に伴う講習会やボランティア活動にも、お父さん方が参加してくださるようになりました。
- (4)いろいろな地域から講師の方をお呼びすることで、さまざまな情報を聞くことができました。

今後の課題と展望

- (1)季節によって、参加者に変動がありますが、忙しい時期だからやらないというのではなく、少ない人数でも必要な時には、活動をしていきたいと考えます。
- (2)講習会で技術を覚えても修理・修繕にはそれなりの道具類（電動ヤスリ等）が必要な時があるので、工具を調達する工夫が必要と思います。

学校と地域が手を携えて

～子どもたちの笑顔のために～



鶴田町富士見小学校支援地域本部 担当者：神 彰彦／富士見小学校 コーディネーター：川村 博信・櫻井 博孝

西北地区

鶴
田
町

学校や地域の概要

- 昭和61年に旧野木小学校、旧木筒小学校、旧水元小学校の一部が統合し富士見小学校が開校しました。地域に伝わる「獅子舞」伝承活動を通し、郷土愛を育て、心豊かな児童の育成を図っています。
- 富士見学区は、鶴田本町西にかかる鶴寿橋を渡ったところに開ける純農村地帯で、水田とりんご園に囲まれています。西側に岩木川、南には秀峰岩木山、学区には津軽富士見湖が隣接する豊かな自然に恵まれています。

わが校のボランティア活動

- 児童の勤労意識高揚と生命や環境を大切にする心情を培うため、地域の自然環境を生かした農業体験活動を行っています。低学年は野菜づくり、中学年はりんごづくり、高学年は米づくりに取り組み、それぞれの活動に応じたボランティア活動を展開しています。
- また、児童の教育活動の充実や教育環境整備のために、ねぶた製作講習会、スキー指導講習会、読み聞かせ講習会、遊具設置講習会を実施しています。学校保護者・地域ボランティア、学校支援コーディネーターが連携して活動を展開しています。

コーディネートの実際

- 学校からの要望に対し、コーディネーターの経験や人脈を生かし、活動場所や講師の選定等、連絡・調整にあたっています。
- 地域の状況や住民のことを理解しているので、ボランティア協力や事業の実施にあたって連絡や調整がスムーズに行うことができています。

担当者・コーディネーターから一言

担当者：地域との連携を図った、特色ある充実した教育活動が展開でき、教育環境の整備を図ることができました。

コーディネーター：学校や地域との連絡、調整を進めることにより、地域の活力や児童の活動意欲向上、児童の笑顔が広がることを期待し活動にあたっています。

わが校の主な活動

【1】ねぶた製作講習会

- ・つるた夏まつりに出陣するねぶたの製作を支援する講習会を開催しました。
- ・ねぶた製作指導者を講師に迎え、学校支援ボランティア10数名とともに、既存のねぶたを補修する作業を通して、紙を貼る時の注意点、明かりを効果的に生かすためのろうの付け方や溶かし方について、具体的な作業をしながら学ぶことができました。また色付けをする際、望ましい色のつくり方や綺麗に塗るためのポイントなども学ぶことができました。
- ・ねぶた運行時を想定して、ねぶた絵を効果的に見せるための明かりの付け方等今後の活動を充実させる上で有意義な機会を持つことができました。

【2】稻刈り講習会

- ・児童の勤労生産体験学習の充実を図るため、米づくりの一環として、稻刈りの指導を支援するボランティア育成を図る講習会を開きました。
- ・鎌の使い方や刈り方、束ね方や乾燥の仕方等、刈り取りのポイントを実践を通して学ぶことができました。



【3】獅子舞講習会

- ・地域の獅子舞指導者を講師に招き、本校で伝統的に継承されている「獅子舞」の基本的な踊り方や横笛の吹き方、獅子舞の概要について、講習会を開きました。
- ・伝統芸能継承の意識を高め、地域に対する愛着と誇りを育むための体験活動の充実を図ることができました。



得られた成果

- ・子どもたちにとって、たくさんの地域の方々との交流を深めることができ、また、地域を知ることにもつながり、活動の充実を図ることができました。
- ・学校にとっては、さまざまな教育活動を展開していく上で教職員の啓発につながり、また、一人一人の子どもに関わる時間を確保することにもなり、教育活動の一層の充実に寄与することができました。
- ・ボランティアにとっては、学校や子どもたちとのつながりが生まれ、地域にある学校としてより身近に感じられるようになり、また、ボランティア本人の活動の幅が広がる機会ともなっています。

今後の課題と展望

- ・ボランティアの育成を推進し、事業の拡充を図っていくために、広くPTAや地域の方々の参加や協力が得られるよう周知方法を工夫していくことが課題です。そのことで、本事業を充実させ、引き続き学校支援ボランティアの育成、学校と地域の連携を図っていきたいと考えています。

子どもたちと地域の力で

～学校とのコミュニケーションを大切にしながら～



鶴田町鶴田小学校支援地域本部 担当者：石岡 誠子／鶴田小学校 コーディネーター：笹森 典子

西北地区

鶴
田
町

学校や地域の概要

鶴田小学校学区は、旧鶴田町の中心部である商業地域を中心とした12の町内、強巻、大巻、亀田、新田子の農業地域、更に住宅地として発展してきた駅東町、あさひ町、みどり町を加えた19の町内となっています。

保護者の学校に対する思いは深く、参観日の出席率は高いものの、共働きが多いせいか学級懇談にはあまり顔を出さずに帰ってしまう保護者が多いため、その対策として、夏休みに個人面談の日を設けています。

わが校のボランティア活動

わが校のボランティア活動は大きく三つに分けられます。①環境整備支援ボランティア活動として、校庭樹木の剪定、学校花壇作り、グランド整備、体育館ワックス塗りなど。②学習支援ボランティア活動として、家庭科ミシン縫い、調理実習、書写指導、総合学習におけるゲストティーチャーなど。③PTA合同行事支援ボランティア活動として、ねぶた製作と運行、三世代ふれあい祭りにおける昔遊びや、絵本読み聞かせ、昔語りなどがあげられます。その他、交通安全パトロール隊による指導、部活動指導などが行われています。

コーディネートの実際

「できることを できるときに できるところから」をモットーに、できるだけ学校や学級担任の要望をくみ入れながらコーディネートしています。今年度、広報活動の一環として、学区全戸を対象にボランティア募集を実施しました。その結果をふまえ、進んで学校に来てくれる人を大切にし、人から人へと少しづつボランティアの輪を広げています。また、既存のボランティア団体とのコミュニケーションを図り、連携に努めています。

担当者・コーディネーターから一言

本事業が始まってから2年目を迎えています。コーディネーターと教職員は、信頼関係で結ばれており、必要とする支援の申し入れや、それに応じてのボランティアの手配等も素早く、スムーズな教育活動の助けとなっています。

わが校の主な活動

◇ 「三世代ふれあい祭り」について

本校の伝統的なPTA合同行事として根づいているのが「三世代ふれあい祭り」です。当初は週5日制対策として、家庭、学校、地域が連携して立ち上げた事業で、少しづつ形を変えながら今日まで継続してきています。ねらいは昨年度から実施してきた学校支援地域本部事業と一致する部分が多く、新たな視点からみつめ直すよい機会となっています。



毎年9月第4土曜日に位置づけ、昔遊びをテーマとし、祖父母、地域の老人クラブやPTA役員OB等を講師に、子ども・父母・祖父母・教職員が一堂に会して交流を図っています。

昔遊びとしては、お手玉（あやこ）、おはじき（あんこ）、あやとり、折り紙、犬棒カルタ、割り箸鉄砲、吹き矢、めんこ（ビダ）、独楽回し（ずぐり）、その他に絵本の読み聞かせ、今年度は昔語り（むがしっこ）も加わり年々中身が充実してきています。地域の方の積極的な



ボランティア活動が見られ、今年度町内学区全戸に学校支援ボランティア募集をした成果と考えています。午後にはPTA主催のバザーがにぎやかに開催され、もちつき体験コーナーを設け、子どもたちの歓声に喜びながら、そばやもちなどを食べ、地域ぐるみで盛り上がったイベントでした。この後、2年生生活科の学習につなげる計画をしています。

得られた成果

- ・学校支援地域本部事業開始以前から地域との交流を取り入れた学校活動を部分的に展開してきたが、さらにその意識が高まり、充実してきました。
- ・教職員の「開かれた学校づくり」の意識が高まってきました。
- ・地域の方が学校に出向く機会が多くなり、今まで以上に学校活動に対する理解・協力が得られるようになりました。
- ・子どもたちに地域の方への感謝や協力が感じられるようになってきています。
- ・ボランティアをすることで子どもたちから元気をもらい、ボランティア自身の意欲向上につながっています。

今後の課題と展望

「こんなことをして欲しい」と願う学校と「子どもたちのために何かしたい」という地域の思いをうまくつなげていけたらと思います。そのためにも一人でも多くのボランティアを見つけ出す努力が必要だと考えています。今後も学習支援ボランティアに力を入れていきたいと思っています。

地域と共に 活力ある学校づくり

～卓越した技能者と地域ボランティアとの活発なる支援活動～



鶴田町鶴田中学校支援地域本部 担当者：長内 勝／鶴田中学校 コーディネーター：宮本 充

西北地区

鶴
田
町

学校や地域の概要

鶴田中学校は、昭和45年に統合により、近隣の4校が統合してできた町唯一の中学校です。在校生は、町内6つの小学校からの卒業生で構成されています。

部活動が盛んで、県大会でも優秀な成績を収めているため、他校の目標となることが多い学校です。

鶴田町は、津軽平野の中央に位置し、りんご、米、ぶどうなど農業を中心とした地域です。鶴と国際交流の町をかけ、全国に先駆けて朝ごはん条例を制定し、生活改善、健康づくりに取り組んでいます。

わが校のボランティア活動

本校の学校支援地域本部は、地域協議会会長を中心に10名による地域協議会を設置し、事業の立案、事業評価、人材バンクの作成を行っています。

この2年間は、ボランティアの育成を中心に、校舎内壁塗装講習会、校地内施設修繕講習会、校地内樹木伐採講習会、校地内廊下洗浄、ワックス掛け講習会等々の環境整備を主とした講習会を多く開催しました。その結果、ボランティアの技術向上が図られました。

また、家庭科や美術科で使用されている刃物研磨や雑巾づくり、菜園作り活動の支援などのボランティアを行ってきました。

コーディネートの実際

学校のニーズを把握して、学校の求めに応じて学校支援ボランティアを派遣するために、職員室等でこまめに先生方とコミュニケーションをとり、先生方が求めていること、困っていること等をなるべく瞬時に把握し、対応していくことを心がけています。

本校のコーディネーターの職業が地元の神社の神職であるため、数多くのボランティアとなり得る人材を把握しており、老若男女、数多くの人材を派遣してくれています。

担当者・コーディネーターから一言

昨今、学校予算の削減に伴い、修繕や環境整備ができずに、苦労していましたが、学校支援地域本部事業の推進により、ボランティアの方々の支援をうけて、次々に学校環境が整備され感謝しています。

わが校の主な活動

講師に佐藤春建設の佐藤春氏を迎え、劣化・破損した学校地内の施設（部室・トイレ等）の基本的な修繕技術を学びました。

実技を通じて、技術を指導していただき、部室等の壁、床の修繕の実践を行いました。



得られた成果

講習会を開催したことにより施設の壁、床、ベンチ等が修繕され、見違えるほど綺麗になりました。

学校職員にとっては、学校支援ボランティア活動に理解を深める良い機会になりました。

子どもたちにとっては、施設が修繕され、綺麗になったことにより、ものを大切にすることを学びました。

ボランティアにとっては、修繕技術の基礎を学んだことにより、今後の活動の幅が広がったと考えています。

今後の課題と展望

効果的ではあったが、地域の人たちにはまだ学校支援ボランティアを理解してもらっていないと思っています。少しづつでもボランティアを増やす活動を展開し、事業の啓発を心がけていくとともに、今後も講習会を開催し、より一層のボランティアの技術向上を図っていきたいと考えます。

部活動支援を中心に

～地域に支えられた部活動支援～



鶴田町梅沢小学校支援地域本部 担当者：菊地 曜浩／梅沢小学校 コーディネーター：鈴木 清司

西北地区

鶴
田
町

学校や地域の概要

明治8年に鈴木多右衛門が私費を投じて建築した学舎が、梅沢小学校のルーツであり、現校舎は昭和37年に新築され、整備されたものです。当時は、学校環境緑化に配慮した学校として名を馳せたと聞いています。現在も80種以上の多彩な樹木に囲まれた木造校舎は当時の面影を強く残しています。

地域の産業はリンゴ・米・ぶどう等を中心とした農業が主体であり、学区は5町で構成され、人口は1600名余です。

わが校のボランティア活動

ボランティア活動

5月～ 環境整備作業 年2回
6月～ 廃品回収 年4回
5月～ 体験学習支援
りんごづくり支援
米づくり支援等
通年 部活動支援

指導者養成講習会

8月 樹木剪定技術講習会
9月 和太鼓指導者養成講習会
11月 門松づくり講習会
1月 スキー指導技術講習会

コーディネートの実際

梅沢地区協議会（昔から地域にあった学校支援団体）と学校PTAを中心に支援を展開しています。コーディネーターは梅沢地区協議会の会長がつとめています。

ボランティア支援の要請を受けたコーディネーターは、地域とのつながりを大切にして人材等を探し出し、それらの連絡を受けた学校やPTAが、その人材等にお願いしながら、ボランティア活動を展開しています。特に部活動支援や体験学習支援は、それらの地域人材によって成り立っています。

担当者・コーディネーターから一言

地域の高齢化が進んでいることを踏まえると、学校のために、もっと若いコーディネーターを育していく必要があると感じています。

わが校の主な活動

◇部活動支援 [ソフトボール部・野球部]

本校の部活動は、3年生以上の多数の児童が所属しており、梅沢小学校の先生方が監督として指導にあたっています。先生方は多くの時間を割いて放課後に部活動を指導していて、特に上記の2つの部は試合数も多く負担は大変なものになっています。そこで監督の負担軽減を目的に、地域の保護者も含めたボランティアが手伝っています。実際の手伝いとして、監督にお願いされたバッティング指導の手伝いやノック等をしています。あくまでも監督の手伝いという立場をわきまえて、子どもたちを健全に育てるという教育的な視点を忘れないようにしています。また、対外試合の際の児童の移動や用具の運搬の手伝いもしています。これらは多忙な先生方に校務や部活動の指導に専念してもらうために、父母を中心としたボランティアで行っているものです。各部の父母会が中心になって連絡を取り合い、それぞれの仕事の時間の合間を縫って手伝いをしています。



父母会の運営は、先生方に負担をかけないように部費の管理を含めてすべて父母会の方で行うようにしています。また、今年は全国大会等へ出場する機会に恵まれたため、父母会で全国大会実行委員会を立ち上げて、経費の管理や宿泊の手配等を行いました。いろいろな仕事があり大変でしたが、子どもたちや地域のためになるのならと、みんなで協力して取り組みました。

得られた成果

①子どもたちの成長

歯を食いしばり辛い練習に耐え、目標を持って努力する姿に、子どもの成長を実感しています。同時に、私たち保護者も、大人として責任を持って子どもたちを育てなければという思いに至ります。

②父母の協力の輪（和）

互いに連絡を取り合い協力していく中で、父母同士のネットワークができ、それらが学校を支える力になっているように思っています。

今後の課題と展望

子どもの数が減っているためPTA会員数も減少しています。共働き家庭も多く、仕事の都合が重なりボランティア確保が難しいときもあります。

現在の活動内容を維持することよりも、事業内容の整理や見直しを図り、より効果的なボランティア活動を展開することが大切だと考えています。

